

ニコニコ箱

国際ロータリー第 2650 地区 ガバナー 中野博美様
 国際ロータリー第 2650 地区 ガバナー補佐 貴志英生様
 国際ロータリー第 2650 地区 幹事長 三好正晃様
 中野ガバナー御一行様、本日の例会よろしくお願ひします。
 (福井あじさい RC / 会長近藤 実様)
 今日は代行を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
 (福井あじさい RC / パスト会長 古市恭也様)
 本日のガバナー公式訪問例会、よろしくお願ひいたします。
 (福井あじさい RC / 幹事 竹内義隆様)
 2650 地区中野ガバナー様、貴志ガバナー補佐様、三好幹事
 長様、ようこそ福井 RC へ。また福井あじさい RC の皆様、福
 井 RAC 宮下様よろしくお願ひいたします。(吉田清二)
 酷暑が続いております。水分を十分にとりご自愛ください。

(淡島智子)
 中野博美ガバナー御一行様をお迎えして。心より歓迎申し上げます。
 (岩下春幸)
 中野ガバナー御一行様、本日はよろしくお願ひいたします。
 (上田祐広)

中野ガバナーをお迎えして。(大森正男)
 中野ガバナー御一行様、本日の例会よろしくお願ひいたします。
 (角谷恒彦)

中野博美ガバナー様、ようこそ福井 RC へ。(佐々木知也)
 中野博美ガバナー、猛暑の福井へようこそ。(清水慶造)
 いろいろお騒がせしてすみません。しっかり対応して参ります。
 (竹生知子)

中野ガバナー、歓迎します。(登谷大修)
 中野博美ガバナー御一行をお迎えして。(橋本泰久)
 中野博美ガバナーようこそ福井へ。(平野洋一)
 中野ガバナー御一行様、ようこそお越しいただきました。
 (渡邊義信)

瀬越智和・竹内大介・南 宏季・森川圭造
【委員長就任】 田畑賢一
【副委員長就任】 石橋正人・玉木 洋
【在籍御祝】 田畑賢一
【誕生日御祝】 石橋正人

各 君

米山奨学特別寄付金

今年度は加藤委員長と共に楽しい催しで親睦委員として頑張っ
 て参ります。(澤田悟恵)
 少しでも貢献したいです。(専田武志)
 高橋宏幸・山岸恒一

各 君

幹事報告

幹事 角谷 恒彦



① 例会終了後、当会場にて記念撮影を行います。会場後方に撮影台を準備して
 おりますので、例会が終わりましたら、皆さま、
 会場後方にお集まりください。



福井あじさい RC 竹内幹事と

ロータリー財団増進特別寄付金

中野博美ガバナー御一行様、公式訪問ありがとうございます。
 (淡島智子)
 わずかでも世界の役に立ちますように。(出雲路康照)
 中野ガバナー御一行様をお迎えして。(木村憲一)
 ガバナー御一行様、公式訪問ありがとうございます。(木村佳美)
 中野ガバナー、三好幹事長、ようこそお越しいただきました
 ありがとうございます。(清川卓二)
 お隣に木村さんがいらっしやっただけ。(小森富夫)
 ガバナー公式訪問に際して御礼として。(辻橋清和)
 木村佳美副委員長と同じテーブルなので。(山野井秀一)
 滝本光男・増田喜一郎

各 君

寄付金の状況

	7月27日分	累 計	目 標
ニコニコ箱	74,000円	336,000円	3,000,000円
ロータリー財団	20,000円	76,000円	4,095,900円
米山奨学金	8,000円	71,000円	2,540,000円

ありがとうございました。

ビジター受付

- 8月 23日(水) 福井北 12:00~12:30
 ザ・グランユアーズフクイ 1 階
 カフェテリアテリア前
- 9月 20日(水) 福井北 12:00~12:30
 ザ・グランユアーズフクイ 1 階
 カフェテリアテリア前



事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号加藤ビル5階 TEL: 0776-25-0633 FAX: 0776-24-8622
 例会場 ザ・グランユアーズフクイ3F TEL: 0776-24-3200 例会 毎週木曜日12:30~13:30
 クラブ会報委員会 委員長: 小野田 亮 副委員長: 村田 長隆
 委員: 竹生 知子・佐竹 新・柳町 剛弘・竹澤 文孝・専田 武志・吉岡 正盛
 ソングリーダー: 木村 憲一 サプリダー: 北島 恬・野尻 章博・竹生 知子・山本 晃司・辻橋 清和・西岡宏二郎・柳町 剛弘・澤田 悟恵
 ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com
 創立 1950年(昭和25年)10月15日 RI承認 1950年(昭和25年)12月4日(承認 No.7647)

現在会員数

130名

《2023-2024年度 R.I. テーマ》 クラブテーマ: RC活動を復帰し更に発展すべく 地区スローガン: ロータリークラブに活力と 会員絆の再構築を 輝きのある希望を生み出そう!!!



世界に希望を生み出そう

R.I. 会長 R.I. 第2650地区ガバナー
 ゴードン R. マッキナリー 中野 博美

理 事	監 事	役員補佐
会長 吉田 清二	クラブ奉仕 片岡 正明	副幹事 清水 盛伸
副会長 上田 祐広	職業奉仕 齋藤 英夫	副会計 松田 将裕
直前会長 荻原 昭人	社会奉仕 奥村 隆司	副会計 滝本 光男
幹事 角谷 恒彦	国際奉仕 堀内 康代	副会場監督 鷲田 泰紀
会計 初瀬川達郎	青少年奉仕 萬谷 光司	副会場監督 中山 浩成
会場監督 岩崎 新	ロータリー財団 野村 直之	

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。世界中で素晴らしい活動をしているロータリーの仲間を増やし、今まで以上にたくさんのことができるよう。

本日の例会 2023年8月3日 第3546回 今後の予定

12時30分 開会点鐘
 会長挨拶
 米山奨学金授与(謝 燕琴さん)
 栄誉行事
 皆出席御祝/ 木村 憲一(28年)、城戸 利枝(8年)、竹生 知子(4年)、
 高橋 宏幸(1年)
 在籍御祝/ 橋本 泰久(30年)、清川 卓二(10年)
 誕生日御祝/ 清水 慶造、齋藤 英夫、淡島 智子、渡辺 崇嗣、
 白江 文夫、竹内 大介、堀内 康代、吉岡 勉、
 平野 洋一、畑下 徳洋、後藤 正邦、竹生 知子、市橋 信孝
 配偶者誕生日御祝/ 鍋屋 昌明、稲田 朋美、長谷川 智洋、小谷 哲治、
 酒井 哲夫、畑下 徳洋、中山 浩行、伊井 彌州雄、
 竹生 知子、須賀原 和広、山岸 恒一、澤田 悟恵、
 上田 祐広、嘉屋 次郎、村田 長隆、加藤 幹夫、登谷 大修
 結婚記念日御祝/ 藤井 健夫、久代 雄一郎
 委員会報告・幹事報告・その他
 委員会卓話/ 地区 会員増強・拡大委員会 渡邊 義信委員長)
 演 題: 「DIE と増強・拡大について」

- 8月10日(木) 休会(盆休み)
- 8月17日(木) 納涼例会(夜間例会)
 会場(ホテルリバージュアケボノ)
- 8月24日(木) クラブフォーラム
 (地区 会員増強・拡大委員会)
- 8月31日(木) 会員卓話(澤田 悟恵会員)



13時30分 閉会点鐘

会長挨拶



2023-24 年度 会長 吉田 清二
 「今ロータリーが問われている事」

ガバナー御一行の皆様、本日はようこそ福井 RC、福井あじさい RC の合同例会にお越し頂き誠に有難うございます。
 既に発表された RI2650 地区 福井 RC 活動方針については 4/22 の例会の時に皆様に詳しく発表させて頂いておりますので良くご存じだと思います。
 また、2650 地区に関しては本日で来賓の中野ガバナー様から後ほど詳しくアテンドがあると思います。3/18 ホテルオークラ京都で RI、及び地区テーマを知って、本日で列席の中野ガバナーとも初めてお会いした訳ですが、この中で私が最も心を動かされたのは、世界も地区も福井も活動目標の中で、「健康」それも「体と心の健康」を目標として一値して挙げていた事でした。これは今年 RI、地区、福井 RC、即ち世界中でロータリアン会員が「健康」を重要目標の1つとして挙げその必要性を感じていると言う事です。7月号ロータリーの友にも記載されていますが、ゴードン R. マッキナリー RI 会長が最愛の弟さんを亡くされた事もあり、医師会でなく世界のロータリアンに向けてメンタルヘルス支援の重

要性を述べている所でもお分かりでしょう。ゴードン会長は、メンタルヘルス改善は医者の方でなくロータリアンの行動、行為に期待をかけているのだと思います。
 WHO は世界人口の 1/8 つまり 9 億 7000 万人が重度の精神疾患を抱えて生活していると報告しています。そしてメンタルヘルスを抱えている人は例えば鬱病の人は心臓発作や糖尿病等発症しやすいと言う報告もあります。逆のケースも多い事に警鐘を鳴らしています。
 また、7月の RI の「母子健康月間」にちなんで、高知東 RC の「おむつバンク」の記事も心を打たれました。我々は大金を掛けなくても、相手を思いやる心と工夫があれば、大切な小さな命を救う事に関与出来る事を示しています。日本を含む世界で毎年 5 歳未満の子供が命を落とすのは推定 560 万人。栄養失調、適医療や衛生設備の欠如が原因との統計があります。これら予防可能な原因で母子が命を落とす事は、日本及び世界であってはならないと強く思います。
 日本では「悩みのない人は無い」とよくいいます。我々ロータリアンは周辺の人々の健康に対する悩みに慣れっこになり、それらに見えぬふりをしたり偏見を持つたりしてはならないと思います。
 皆で支え合い、続け明るく希望を持ち続け、歴史と伝統のある福井 RC の活動を続けて行きましょう。
 ガバナー御一行の皆さま本日猛暑の中例会に御出席頂き誠に有難う御座いました。

■ 会場: ホテルリバージュアケボノ ■ 登録受付: 17時30分
 ■ 開会点鐘: 18時00分
 ■ 閉会点鐘: 20時00分
 ■ 納涼例会(夜間例会)

2023年7月27日 第3545回

出席報告

- 現在会員 130名
- 出席者 78名
- 欠席者 43名
- 出席免除者欠席 9名
- 今回例会出席率 64.5%

例会修正出席率

6月29日

- メークアップ 26名
- 欠席者 3名
- 修正出席率 81.1%

● **メークアップ** 渡邊義信・増田喜一郎(7/25 第3回地区会員増強・拡大委員会)、萬谷光司・瀬越智和・淡島智子・市橋加奈子・須賀原和広・長谷美左子(7/27 福井RAC)、野村直之(7/22 地区 2023-24年度 第1回財団資金推進委員会)、須賀原和広(7/30 地区 2023-24年度 RLI DL研修会) 各君

例会報告【ガバナー公式訪問】 福井あじさい RC と合同例会



会長・幹事・役員懇談会

日時：2023年7月27日 9:40～10:40
会場：ザ・グランユアーズフクイ 聚楽の間

中野ガバナー御一行様 3名と福井クラブ会長、副会長、幹事、副幹事の7名にて懇談会を行い、クラブ運営の方向性についてアドバイスをいただきました。



ガバナーアドレス

**国際ロータリー第2650地区
2023-24年度 中野 博美ガバナー**

国際ロータリー 2650 地区 2023-24 年度のガバナー中野 博美と申します。どうぞよろしくお願い致します。

先程は、宮崎パストガバナーに私共の京都 RC、そしてここ福井 RC、あじさい RC を称して、親子孫と評してください、恐縮しております。パストガバナーも在籍、そしてお近くにいられるというようなところで、ガバナーの役目というのは、地区にたった一人の RI の役員であります。そして、RI からのアナウンスメントをつぶさに、指針をまじえず地区に伝え、それを元に、地区の方針を作成し、そしてまた地区にそれを伝え、地区のクラブさんの色々な運営事業に関してしっかりとお支えするというのが役目とされております。コロナで

の3年間ほど、国際協議会というガバナーになるための要件、出席要件であるものが全員集合して開かれてはおりませんでした。リモートオンラインで開かれていたということであり、3年ぶりにアメリカフロリダのオーランドで開かれ、出席をして参りました。日本からは34名の地区ガバナーが出席しました。世界中からは530名くらいガバナーが集まります。ガバナーはだいたい、1人のパートナーを連れて参りますので、それだけで計1,000人。さらにロータリー関係者も数百名おられますし、ボランティアはパストガバナーであります。非常に大きなホテルで開催されました。

今年度 RI 会長のゴードン R. マッキナリーさんがテーマスピーチをされました。彼が最初におっしゃったのはフォース鉄道橋というお話をされました。ゴードン R. マッキナリーさんは、スコットランド出身で、口腔外科の先生です。エディンバラにクリニックをお持ちで、いつも通勤をするときにフォース鉄道橋を車で通るそうです。フォース鉄道橋という

のは1890年に開通しました。フォース川の両域の物流の交換、人的交流をしっかりと考えた上で、地域社会に役に立つであろうという考えのもとに造られたとおっしゃいます。これは、実際にフォース鉄道橋は130年後の今でも地域社会に対して便益を与え続けている。これはロータリーに特有の得意なビジョンに基づく行動とそのインパクトということを言い表そうとしているというわけです。

次に RI 会長がお話になったのは、「先人の残したいアイデアはぜひ継続していこうと」。最初に言われたのがロータリーとローターアクトとの関係であります。ロータリーはこれまで、十分にローターアクトに支援をしてきた。ローターアクトは十分に育ってロータリーと共同で色々な事業を出来るように育ってきている。ぜひロータリーとローターアクトが共同でロータリーとしてより大きな事業をしてほしい。なかなかすぐに同格というふうにつながるかどうかというのは難しいかもしれませんが、とにかく共同してより大きなロータリーの事業をしてほしいということを言われました。

【女兒へのエンパワメント】まだまだ世界中では女性が活躍できる場が少なく、能力のある女性がのびのびと活躍出来るように小さいうちから支援をし、能力をつけさせていこうというふうにおっしゃいます。

【DEI】なかなか耳になれないというところはあるかもしれませんが、多様性公平公設性、私的にはインクルージョンで全てまとめることが出来るのかなというところですが、とにかく多様なアイデア、多様な人材、多様なパートナーシップを十分にロータリーは取り入れ、ロータリーを育てていこうグロウロータリーという形であります。

【ポリオ根絶】ポリオ根絶は、国連・WHO・ユニセフ・各国首脳・そして経済、ここにきて99.9%根絶に近づいているところですが、ここにきて少し若干の野生からの後発例がいくつか発生しておりますが、ロータリーはポリオ根絶に向かって実施をしているんだという PR、アナウンスメントに効果があり、かえって注目を浴びようになってきているところであります。ゴードン R. マッキナリー会長は、「もしポリオが根絶に至ったらロータリーは歴史的な賞賛を浴びるだろう」とまでおっしゃっています。

【メンタルヘルス】行動計画、そして最後にこれは継続ということではありませんが、ゴードン R. マッキナリー会長が特有のメンタルヘルス、もちろんご家族のご不幸も長めに話されましたが、メンタルヘルスの取り扱いに注意してほしい、ぜひ考えてほしいということをおっしゃいました。

次に、今は歴史的なタイミングであるということ。一つはロシアのウクライナ侵襲、これによって多くの命が失われ、大事な建造物、いろいろなものが破壊され、世界の平和が脅かされている。そしてコロナのパンデミック、またこれによって多くの命が奪われ、世界の分断が行われたことにより、人々の心の中の平和が脅かされている為なんとかしなくてはならない。ロータリーは今までも、世界の歴史の要請に十分に答えてきた、今回も何かしなくてはならない。これは然るべき運命を切り開いていくためにロータリーは常に進化し、そして時には革新的でなくてはならないというポールハリスの言葉が思い出されるのであります。マッキナリー会長はビジョン声明の基本で、世界の平和が脅かされている、社会が分断され人々の心の中の平和、メンタルヘルスを使用しているところではあります。なんとかしなくてはならないというところで、平和の推進とメンタルヘルスというひとつの結論に至っています。

それから希望についてであります。2006年にマッキナリー会長はタイに行かれたときに一人の女性に会います。女性は貝殻を持っていました。その女性は、2004年の南アジアを襲った大津波、その時に夫、長男、長女を亡くし、家は流され、家財道具も全て流され、ほとんど生きる希望を失った。ただ、地域社会で避難所、病院、小学校、集会所を造るロータリーを見た時に、少し生きる希望が湧いてきたそうです。その時にキラキラした綺麗な貝殻を見つけたそうです。たった一つ残った財産をマッキナリー会長にプレゼントしにやってきました。それを見て彼は、希望だと、世界が平和であることは、あるいは人々の心の中が平和というのは希望の土壌だ、世界に希望をうみだそう、クリエイティブワールドという言葉に行きつくところあります。そのことをう

けてまして、わたくしは三つの希望と致しまして、個性、基本、求心力が考えつきました。個性というのは美しいです。おそらくどのようなクラブも創立の折には地域の文化歴史環境人物、何か特色となる理念があつてそこに結集し、成長し、大きくなってきたわけでありまして。ぜひその個性を大事にしていて頂きたいと思つています。金太郎あめのようにどこで切っても同じ顔みたいなクラブがあつても、あまり関心を持たれないと思つています。私共京都 RC のバストガバナーあたりから私に至るまで、全てテーマのどこかに基本というのが混入しております。これは全員が顔を突き合わせて決めたわけではありませんが、色々話をしてみると、考えは同じでありました。日本で古来大切にしているのは例会出席と職業奉仕、もちろん親睦と奉仕も大事ですが、例会出席と職業奉仕、そういうものを大切にしてきたわけですが、最近 RI から聞こえてくるアナウンスメントは、柔軟性でありますとか、毎週やなくていいよとか、大切にしていたけど組みというものが変性している気がして仕方ありません。そこで、基本を大切にですとか、基本に戻ってですとか、そのように表現しております。日本は一樣な国ですが、アメリカはまだまだ成長しており、少し前までは倍でしたが、今では3倍くらいの人口です。その中で民族、宗教、色々な価値観が非常に多様に混在している国でありますので、環境の変化に対して、ロータリーも変わっていかなくてはならないところがあるのだと思つています。ロータリーならずとも社会の変化に対して柔軟に変わっていかなくてはならない。先程、宮崎パストガバナーから仰っていただいた「スリー H プログラム」これは先人のよいアイデアをぜひ継続していこうという類の話であります。ここ3、4年の間に、何回か教えて頂きました。スリー H というのは、「ヒューマンティヘルスハンガー」これを称してスリー H プログラム、これがだんだんと細分化されて、発展して重点分野とか、細かいカテゴリーに分かれたのだと思つています。

【ヒューマンティ】戦争の予防とか平和の推進とか、基本的な教育をどうするのかとか、災害の時の考え方はなんだとか、そういうものでありましよう。可能性として私は教育かなと考えております。

【ヘルス】これは40年ほど前にロータリーがポリオ撲滅のアイデアを考えた時に、ウプロアジア西太平洋 WHO 事務局は尾身茂博先生がされておりました。尾身先生にロータリーはポリオ撲滅を考えたという、尾身先生はそれはありがたい。そしてとても素晴らしいことです。少ししてから尾身先生が、でもしばらくして新しい感染症がやってくることを危惧していますとおっしゃったそうであります。実際この20年くらいの間に、4、5年おきに新しいものがやってきました。みんながパンデミックになったというわけではありませんが、なにが言いたいかと言いますと、ポリオはロータリーによって、そのうち根絶に至るでしょう。ただ、ロータリーのヘルスに対する使命というのは、その後も続いていくことであります。

【ハンガー】地球の人口は80億を超えています。いろいろな奥地を開発しています。アフリカの奥地、アジアの奥地、南アメリカの奥地、今まで慣習地域があつたものが、だんだん開発をするがために直接接して部族間紛争を起こしたり、国家間紛争を起こしたり、余計な紛争がたくさん起きております。また、掘り起こさなくていい未開の地を掘り起こし、未知の病原菌を掘り起こして、色々なグローバルな社会に生み出してしまつております。何とかしなくてはなりません。

この三つは、それぞれが十分に関係し合ひ、一つとしてスリー H プログラムの形をなしています。おそらく、その細分化した7つの重点分野のそれぞれのカテゴリーを満足させることも大切であると、このスリー H の全体としてまとめた、全体最適というものを社会は求めているのだと、千大宗匠は内耳してくれたのではないかと私は考えております。ぜひ、どういう形でも結構でございますので、世界が、地域社会が、そしてそれぞれの皆様が、持続的によい変化を起こすような事業に取り組んで、地域社会をよくして頂きたいと思つています。ちょっと途切れたかもしれませんが、これが本年度の私のガバナーアドレスとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。